

第 21 回(令和 6 年度)栄養士実力認定試験(一般社団法人 全国栄養士養成施設協会主 催)成績優秀賞・優良賞に本学から 5 名が選ばれました。

第 21 回(令和 6 年度)栄養士実力認定試験(一般社団法人 全国栄養士養成施設協会主 催)が昨年 12 月 8 日(日)に行われ、全国で 8,117 名が受験しました。栄養士実力認定試験は、栄養士・管理栄養士の養成施設に通っている学生や卒業生が、自分自身の知識・実力を知るための認定試験です。栄養士実力認定試験の出題範囲は、管理栄養士国家試験の内容と重なります。管理栄養士の国家試験では、栄養士実力認定試験に比べて、専門知識を問う問題が多く出題されますが、本学では栄養士実力認定試験で基礎知識を定着させた上で、管理栄養士国家試験対策を行っています。

本学栄養学科 3 年生が受験し、成績優秀賞を徳久悠花(福岡県 東筑高校)、優良賞を信山あゆかさん(沖縄県 小禄高校)、鶴田ほの香さん(沖縄県 向陽高校)、平澤晴菜さん(福岡県 田川高校)、山本霞清さん(福岡県 大和青藍高校)の計 5 名が受賞しました。

優秀賞は、得点率 90%以上、かつ全受験者の 1%未満、優良賞は、得点率 85%以上、かつ全受験者の 5%未満の受験者に対して与えられる賞です。優秀賞を取られた徳久さんと優良賞を取られた鶴田さんと信山さんに伺ってみました。

Q: 日頃どの様に勉強法していますか。

徳久さん: 答えを丸暗記するのではなく、なぜそうなるのかまで理解するようにしています。また、勉強のやる気が落ちている時は友人と一緒に勉強して勉強時間を確保しています。

鶴田さん: 講義終了後に友人と大学に残って勉強することで、分からないことを相談し合いながら勉強しています。

信山さん: 日頃の勉強では、わからないことをそのままにしないことを心がけています。自分で調べたり、先生や友人に聞いて理解を深めています。

Q: 栄養士実力認定試験の対策はどの様にされましたか。

徳久さん: 5 年分の過去問をやり込みました。自分が苦手だと思った問題については、その分野についてインターネットや教科書で調べ、理解するようにしました。調べたことを自分の言葉で図表にしてまとめると暗記しやすかったです。

鶴田さん: 先生から頂いた過去問を勉強しました。その際、間違っている選択肢を正しい文章に直したり、どうしてその答えになるのかも理解するようにしました。

信山さん: 先生から頂いた過去問を正文化して覚え、その問題に関連する勉強をしました。

Q: どんな職業に就きたいですか。

徳久さん: 食品企業に就職し、将来的には商品開発の仕事に携わりたいです。

鶴田さん: 病院の管理栄養士になりたいです。

信山さん: 病院の管理栄養士になりたいです。

Q：将来やりたいことは何ですか。

徳久さん：栄養学科で学んできたことを活かし、減塩の商品開発に取り組みたいと思っています。減塩商品を普及させ、間接的に医療費の削減に繋げることが理想的だと思っています。

鶴田さん：学んだことを活かし、患者様の健康を支えられるようにしたいです。将来的には学会で学び、認定資格も取得したいと考えています。

信山さん：まだ漠然としていて具体的なことは考えていませんが、多くの経験を積み、学会などに参加して知見を深め、患者様や医療従事者から信頼される管理栄養士を目指します。



左から信山さん、徳久さん、山本さん、鶴田さん、(平澤さん欠席)

本学科で取得できる免許や資格、管理栄養士の仕事内容、大学生活の様子など興味のある方は、オープンキャンパスへのご参加をお待ちしています！開催日は、令和7年3月25日(火)を予定しています。詳しくは大学のHPをご覧ください。多くの皆様のご参加を、教職員一同、心よりお待ちしております。